

JP-U NO. \$57-66984

2. Scope of Claim for Utility Model Registration

A cushion unit attachment device in a rear wheel suspension,

wherein: a support member which supports a bolt for attaching a cushion unit is arranged in a position between two arm members of a rear swing arm:

a tubular member supported by each arm member is fixed oppositely to a bolt supporting section of the support member;

a center hole of the tubular member is directed to the bolt; and

a diameter of the center hole is formed in such a size that the bolt and a rotary tool for the bolt are penetrable.

(19 日本国特許庁 (JP)

⑩実用新案出願公開

① 公開実用新案公報 (U)

昭57-66984

⑤Int. Cl.³
B 62 K 25/26

識別記号

庁内整理番号 2105-3D 砂公開 昭和57年(1982)4月21日

審查請求 未請求

(全 1 頁)

砂後輪懸架装置におけるクッションユニット取付装置

20)実

願 昭55-144946

砂田

願 昭55(1980)10月11日

⑩考 案 者 古山忠明

砂実用新案登録請求の範囲

リヤスイングアームの2本のアーム部材に挟まれる位置に、クツションユニット取付用のボルトを支持する支持部材を配し、該支持部材の前記ボルト支持部に対応する位置に、前記両アーム部材にそれぞれ支持させて管状部材を固定すると共に、該管状部材の中央孔を前記ボルト方向に向け、該中央孔の径を前記ボルトと前記ボルト用の回転工具とが通過し得る大きさとしたことを特徴とする、

静岡県磐田郡竜洋町海老島389 の1

②出 願 人 鈴木自動車工業株式会社

静岡県浜名郡可美村髙塚300番

地

⑩代 理 人 弁理士 萼優美

外1名

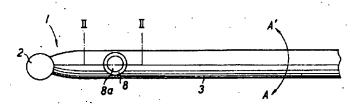
後輪懸架装置におけるクツションユニツト取付装 置。

図面の簡単な説明

第1図は本考案のリヤスイングアームの要部側面図、第2図は第1図のⅡ-Ⅱ線に沿つた断面を含むリヤスイングアームの要部平面図である。

1…リャスイングアーム、3…アーム部材、4 …補強材、5…支持部材、6…ポルト、7…ナツ ト、8…管状部材、8a…中央孔。

第1図



第2図

